

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105081
法人名	医療法人 尚文会
事業所名	グループホーム 竹山苑
所在地	鹿児島県鹿児島市郡山町2570番地1 (電話) 099-298-2161
自己評価作成日	令和1年11月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年11月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

山々に囲まれたのどかな田園風景の広がる自然いっぱいのところに竹山苑はあります  
 気軽に散歩に出かけ四季折々の草花を摘んだり鳥のなき声が聞こえてきたりゆっくりと時間が流れる環境の中で、利用者様は暮らしていらっしゃると思います  
 私たち職員の笑顔で利用者様は笑顔になられ穏やかに過ごして頂くようお手伝いさせて頂いています  
 また行事などを通して家族や地域の皆さまとの繋がりを大切にしております

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは地域コミュニティセンターが近くにあり避難所となっている。
- ・家庭的な雰囲気を利用者の笑顔が多く見られ、家族も気軽に訪問し、積極的な声掛けを心がけて相談にしっかり対応している。
- ・職員は利用者中心にゆっくりとしたペースでコミュニケーションを図り、利用者が一番いい状態で生活できるよう工夫し支援している。
- ・介護主任や管理者は利用者に関わる時間を多く持ち、変化があった場合は家族に報告し、相談しながら対応している。
- ・介護主任兼事務長は毎月職員に手紙を渡し、職員は手紙を読むのを楽しみに、自己研鑽につなげている。職員間も仲がよく、連携が取れ働きやすい環境となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は毎朝理念を唱和し同じ想いを持って実践に繋がっている	職員全員で法人理念を基に事業所独自の理念を作り、毎朝申し送り時に唱和し、日々の振り返りや月単位で話し合いをしている。理念を共有し利用者を尊重した関わりを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入し、行事などを通して地域の方々との繋がりの中で利用者は暮らしている。地域の方々が散歩の途中で立ち寄って下さるなど交流がきている	自治会に加入し、総会に出席している。回覧板等で地域住民に情報提供している。ホーム行事の夏祭りや敬老会など地域住民も多く参加があり、野菜や果物などの差し入れがある。日常の散歩時の挨拶や地域住民の立ち寄り、児童館の子供達との交流や中学生の訪問、ボランティアの受け入れも行っている。地域の相談事の対応もしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所は運営推進会議や地域の方々との交流の中で認知症の人の理解や支援の方法をお伝えしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を開催し活動報告や活動計画、利用者サービス状況などを報告し意見交換などを通してサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に会議は開催し、入居者状況や行事予定と報告、救急搬送や事故報告、外部評価や結果など報告している。出された意見から毎朝、理念の唱和を実践し目に付く所に掲示することでサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括センターの職員と運営推進会議などを通して事業所の実情や活動報告、サービス状況などの意見交換を行いながら協力関係を築くように努めている</p>	<p>市、支所担当者とは医療申請や米寿者の申請、電話や出向いての相談をする等、関係性が築ける様努力している。地域包括支援センター職員とは日常的に情報交換しながら協力関係を築いている。市の介護相談員や福祉担当者とも情報交換している。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員は、身体拘束についての研修会を行い身体拘束の行為について正しく理解し身体拘束をしないケアに努めている。昼間の施錠はしないを基本に努める。夜間の施錠は安全のために実施している</p>	<p>マニュアルを基に年1回の研修会また必要時、資料を配布しての勉強会を実施。言葉での拘束についても日常的に声かけ、指導して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせず、外に出ようとする時は一緒に散歩したり、近距離から見守り支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	職員は高齢者虐待防止法について研修を行い利用者が安心して過ごして頂けるように細心の注意を払い虐待防止に努めている		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	職員は権利擁護に関する研修会へ参加したり自施設でも勉強会を行い、制度を理解し活用できるよう支援している		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時、利用者や家族に分かりやすく説明するよう心がけている。できる事できない事を伝え理解して頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者や家族からの意見、要望は日々の暮らしの中や面会時に聞く機会があり運営に活かしている。玄関には意見箱を設置している	利用者からは日々のケアの中で、家族からは電話や面会時、行事と抱合せの年2回実施する家族会などで意見を聞く機会がある。毎月「竹山苑だより」を発行し、利用者の暮らしぶりを報告し意見を言える機会を設けている。年1～2回の防災訓練を運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員との定期的な面談や会議の中で意見や提案を聞く機会がある。運営会議で話し合いを持ち運営に役立てている	介護主任兼事務長と管理者は日々の申し送りや各ユニット会議、全体会議、年2回の面談で意見や提案を聞いている。日々の関わりで職員の表情の変化で積極的に声かけや職員からの相談にも応じ、介護用品の購入や理事長と話し合い、車椅子対応の車を購入する事で運営に反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は定期的に事業所を訪れ職員のやる気に繋がるような声かけや職場環境の整備に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員がスキルアップできるように内外の研修を受ける機会を確保し推奨している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>さまざまな研修や活動の中で同業者と交流する機会がある。情報交換を行いサービスの質の向上やスキルアップに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを開始する段階で、本人がどの様に生活してこられたのか、これからの生活の不安や困りごとはないか些細なことも気に掛け、耳を傾け安心して頂けるような関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と利用者の関係を理解した上で家族の要望・困り事に耳を傾け一緒に利用者を支えていける関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・家族の思いを受け止め今何が必要なのかを見極め、必要なサービスを考慮し安心安全に暮らして頂けるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の関わりの中で利用者の自立支援に向けた援助を行うと共に支え合い一緒に生活していく中で信頼関係を築けるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時、日々の生活状況をお伝えしたり毎月担当者からのお便りにて1ヶ月間の施設での生活の様子をお伝えし関係性を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所後も馴染みの方々との関係が継続できるよう家族にも協力して頂きながら支援している	入所時に本人や家族・民生委員・入所前の状況から関係性を把握している。面会時はお茶を出して対応し居室で過ごしてもらっている。訪問理美容もある。家族の協力で行きつけの理美容院、法事や墓参り、買い物、外食、外泊など関係性が途切れない支援をしている。手紙や電話での取次支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係について職員間で情報を共有し、みなさん関わりを持って過ごして頂けるよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も状況に応じて、いつでも相談支援できるよう努めている		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いや意向を大切に家族や関係者と話し合い希望が叶うよう努めている。	介護主任や管理者は毎朝、個々の利用者の表情を確認しながら挨拶し、その日の言動・状態を確認しながら思いや意向を把握している。困難な場合は毎日のケース記録や業務記録、申し送り等で情報を共有し、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者、家族、関係者と生活歴などの情報を共有し把握している。その方らしい暮らしを送って頂くために寄り添い対応している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりとコミュニケーションを図りながら心身の状態を良く観察しバイタルチェック表、介護記録などでしっかり申し送り、現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向や要望を聞き医師からの情報を得たうえで、カンファレンス、日々の申し送りなどで話し合いをしその都度状態変化に対応している	本人や家族からの意見や事前に主治医や薬剤師からの情報を得て、ケース記録、業務日誌、職員とのカンファレンスをもとに現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎、見直しは6ヶ月毎であるが、状態変化時はその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子を観察し記録する。個別ケアも詳しく記録し職員間で情報共有しながら、その都度、介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のニーズに合わせてその都度、柔軟な支援、サービスの機能化に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議、自治会加入を通して地域との交流を深め安全で豊かな生活を楽しんで頂けるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を大切にし希望にそった形でかかりつけ医と連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している	かかりつけ医は本人・家族の希望で支援している。往診や電話での相談や24時間対応が可能である。緊急時などは指示により、家族に連絡、救急搬送するなど適切な医療が受けられるよう支援している。結果は電話や手紙で報告している。専門外来への受診は家族対応である。職員が同伴支援やマッサージ訪問など、希望に応じた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の生活の中で、状態変化に早く気付けるよ、早めに医療機関と連携を取り受診に繋がられるよう支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時、サマリーで情報交換を行っている。適切な治療が受けられるように情報により支援を行っている。日々の往診、受診時にノート、記録メモなどで病院関係者との関係づくりに努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族、協力病院と重症化や終末期に向けた話し合いを何度も行っている。事業所でできる事を説明しながら方針を共有し関係者と共にチームで支援している</p>	<p>入所時に口頭でホームの方針を説明し、確認をしている。状態変化時は主治医、家族と話し合いながら方針を共有し、事業所でできることを支援している。看取りの事例がある。訪問看護と連携して支援している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針についてマニュアル化されることを期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成し、急変や事故発生に備えて研修会を行い急変や事故発生時に対応できるよう努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災に備えて消防避難訓練、自施設での抜き打ち訓練など実施している。地震、土砂災害、水害に対する災害対策にも努めている</p>	<p>年1回消防署立会で避難訓練、消火訓練を実施し、独自に年2回抜き打ちで避難訓練を実施している。近距離に川があり、水位の観測所が有り職員の立ち寄りで指導をもらっている。マニュアルがあり、連絡網には自治会長も入っている。非常用備蓄として水・米・レトルトカレー・缶詰・ビスケット類がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員は一人ひとりの暮らしてこられた生活歴を把握し利用者の人格を尊重しながら誇りやプライバシーの保護に努め声かけに気をつけ対応している</p>	<p>年1回、必要時に勉強会を実施し、家族や本人からの情報を得て、その人に応じた呼称で声かけしている。排泄や入浴時の言葉かけや介助時はタオルをかけたたり、職員の交代をするなど一人ひとりを尊重した対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々コミュニケーションを取りながら希望や思いを伝える事ができるように信頼関係を築き、利用者自ら自己決定できるよう支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>趣味や興味のあらわれるものを取り入れたレクリエーションを計画し一人ひとりの自立度、体調、ペースに合わせた過ごし方を支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人の希望を聞きながら日々の着替えの支援をしている。朝は髪を整え鏡を見ながらおしゃれを楽しまれる。3ヶ月に一度訪問美容室にてカットと染めなど支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を行ったり誕生日には好きな物を献立に入れ召し上がって頂いている。また季節を感じてもらえる献立の支援も行っている。野菜の下ごしらえや片づけなど一緒に行っている	入居時や嗜好調査をして献立作成をしている。利用者の力量に応じてやしや玉ねぎの皮剥きを行い、テーブルやお盆ふきの後片付けも職員と一緒にしている。誕生日は好きなものを提供し、敬老会では手作りの弁当、季節の行事食や庭でのそーめん流し等、食べることを楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表など用いてその日の栄養や水分の摂取量を確認している。利用者に合わせて食事形態を提供し状態によって経口補水やとろみ調整食品を使用している		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口の中の臭いや汚れが生じないように毎食後口腔ケアの声かけを行い一人ひとりに応じたケアに努め支援している。週2回義歯の消毒を行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し声かけをしながらトイレ誘導を行い自立に向けた支援をしている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレ誘導している。オムツからリハビリパンツになり夜間はパット交換が少なくなったり、便秘対策として腹部マッサージ、繊維の多い食材の使用と手作りヨーグルトを昼から朝に変更する等、トイレでの排泄が可能となり失禁を減らすことができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事を中心に食物繊維が多く含まれる食材を使用し、毎朝手作りヨーグルトを召し上がって頂き自然排便を促している。腹部や肛門マッサージなども行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は、設定しているも本人の意思を尊重している。職員との信頼関係の中、会話も弾み楽しみながら入浴されている。入浴日以外は陰部洗浄を実施している	基本的に週2回、午後からの支援であるが、希望に応じて対応している。入浴剤を使用し楽しんでいる。入浴拒否時、声かけの工夫や順番を変えたり、職員交代で支援しているが、個々人に応じて清拭・陰洗・足浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり体調やペースに合わせてゆっくり休んで頂けるよう支援している。体を使ったレクリエーションを取り入れながら気持ち良く安心して眠れるように支援している		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、薬の使用目的、副作用について把握している。薬の変更があった時は業務日誌、ボードなどで確実に申し送り服用後の体調変化に気付けるように努め記録している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとり暮らしてこられた日々を尊重し何が出来るかを一緒に考え、できる事から日々の役割を感じてもらえるようにする。ドライブ、散歩などの気分転換の支援をしている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日々の生活の中で本人が何を望んでいらっしゃるかを把握し希望にそった外出支援ができるように努める。家族にもお墓参りや外出を支援して頂いている</p>	<p>日常的に散歩を行い、年間計画で弁当持参の花見で、紫陽花やコスモス見物に出かけたり、数人で地域周辺のドライブや初詣に出かけている。家族の協力で墓参りや法事・理美容院への外出・外食・買い物・外泊など、支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>施設ではお金の所持は行っていない。欲しい物があつた時やおやつなどの購入は外出支援で行っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者の中には、携帯電話を所持されていらっしゃる方もあり好きな時に会話されている。他の方は希望があれば電話の支援をしている。手紙のやり取りの支援もしている</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はネームプレートを用いて混乱されないように工夫している。光の調節はカーテンなどの開閉にて行い眩しくないようように支援している。フロア内は季節を取り入れた装飾をしたり草花を飾って居心地よく過ごせるように支援している	フロアは加湿器や空気清浄機で温・湿度を調整し換気や採光も考慮し過ごしやすい環境となっている。ソファもあり、利用者と職員合作の作品が飾られて、利用者の笑顔も多く居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日々の生活の中で利用者同士の関係性を把握し席の配置に考慮している。フロア内にソファや椅子などを置き思い思いに過ごせる場所を支援している。しゃべるぬいぐるみなどを置いて会話ができるよう支援している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりの馴染みの家具や布団、家族との写真、ぬいぐるみなど持って来て頂き自宅での生活と変わらぬように安心してゆっくり過ごして頂けるように支援している	ベットやクローゼット・ダンスが設置され、寝具類は持ち込みである。家族との写真や時計・椅子等があり、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内での安全な動線の確保と場所の表記を分かりやすくしている。手すりを使っての歩行では見守りを徹底している。利用者が安心して生活ができるように支援している		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない